

講義名	対)教養特講 (航空ビジネスへのいざない)		
担当教員	栗原 正憲		
開講期・曜日・時限	前期 金曜日 4時限	授業形態	講義
履修開始年次	1年生	単位数	2
		備考	

**主題と概要**

日本では観光産業を21世紀のリーディング産業と位置づけ、日本経済の発展に果たす役割は大きくなっていく。そして観光産業の振興への交通機関が果たす役割は、多様化する顧客ニーズの高まりとともに近年重要性を増してきており、中でも航空ビジネスは、地方再生を目指す国内の地域活性化や海外旅行市場の需要拡大を担う成長産業といえます。本講義では、顧客獲得に向けて差別化を図る航空企業の組織構造や高度な専門性を発揮するさまざまなエアライン業務を映像を交えて紹介し、航空業界で働くイメージがつかめるよう学修します。そして航空業界が求めるグローバル人材とは何かを理解し、演習課題を通して社会人基礎力向上につながる機会を提供します。

**到達目標**

エアラインのさまざまな空港業務を学修し、専門性と求められる人材を理解できるようになる。  
航空機を安全・快適に運航するために求められるチームワーク、コミュニケーション能力、ホスピタリティの重要性を理解することができるようになる。  
航空業界に興味を湧き、グループワークを通して就業につながる社会人基礎力を向上させることができる。

**提出課題**

授業の中で随時小レポートの提出を求める。  
特に課題演習の授業では、事前課題レポート・プレゼンテーション資料などの作成・提出を求める。

**課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバック**

授業で講ずる課題レポートは、次回授業の冒頭で出題意図と要点を解説して前回の学習内容を復習する。また、優れたレポートを紹介するとともに、学生からの質問についても解説を行ない全員で共有する。

**評価の基準**

授業への参加姿勢(授業態度、グル・ブワーク参画、プレゼンテーション)	30%
課題レポートの提出と内容	20%
期末テスト	50%

**履修にあたっての注意・助言他**

航空業界への就職志望者、交通輸送機関の研究に意欲を持つ学生の履修を期待する。  
航空ビジネスに関する知識・情報を積み重ねていく授業であり毎回出席すること。  
ビジネスマナーを常に意識するため、授業では特に遅刻厳禁と服装の徹底を求める。  
授業内容の理解を深めるため、教養特講「交通輸送ビジネス入門」を並行して履修することが望ましい。

教科書	.使用しない。				

**プリント資料及び参考文献**

毎回の授業で必要に応じプリント資料を配付する。また、参考文献は授業内で紹介する。

**授業計画**

- 1.オリエンテーション
- 2.航空の歴史と航空自由化
- 3.空港業務の役割(使命)
- 4.グラウンドスタッフ(GS)
- 5.グラウンドハンドリング(GH)
- 6.航空貨物
- 7.客室乗務員(CA)
- 8.パイロット・運航管理・航空整備士
- 9.航空業界が求める人材とは
- 10.航空サービスをサポートする業務
- 11.演習課題 新しい旅行企画
- 12.グループディスカッション(1)
- 13.グループディスカッション(2)
- 14.プレゼンテーション
- 15.まとめ(CSR)

**授業形態(アクティブ・ラーニング)**

ア:PBL(課題解決型学習)	イ:反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
ウ:ディスカッション、ディベート	エ:グループワーク
オ:プレゼンテーション	カ:実習、フィールドワーク
キ:その他(A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

**準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間**

航空業界は世界的な航空自由化が推進され、世界最先端の技術開発とグローバル競争の中にある。常に観光・交通・航空関連ニュースに関心を持ち、最新情報の収集に努めること(予習2時間)。授業で講ずる課題レポートは目的の学習で読済することに加え、期日までに提出すること。また、授業資料を振り返り、航空ビジネスモデルや航空専門用語を理解できるようにし、授業でわからなかった箇所は質問事項を整理して次の授業に臨むこと(復習2時間)。

**卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連**

到達目標を達成することで共通DPに貢献できる。社会経済や国際文化交流を支える航空ビジネスのさまざまな空港業務を学修し、航空業界への興味が高まり就業につながる資質を養い、高い能力を発揮できる人材をつくる。

**双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述**

演習課題については航空ネットワーク、観光資源など各自情報収集し、グループワークを通してディスカッションしながら新しい海外旅行企画を考えグループ発表を行います。

**実務経験の有無及び活用**

「実務経験あり」  
航空会社での勤務(本社部門、営業部門、空港部門、客室乗務員部門、整備部門など)の実務経験を生かして、さまざまなエピソードを交えながら交通輸送事業全般の魅力を伝える。

**備考**

履修学生が一時的に通学困難になった場合は、対面授業の中での対応としオンライン授業への移動は行なわないので健康管理等に留意すること。